

特色ある学校づくりに係る資料（令和2年度）

学番	8	学校名	県立新潟工業高等学校	校長氏名	霜鳥 孝幸
----	---	-----	------------	------	-------

I 校長として目指している学校像

- (1) 理工系大学への進学指導の充実
科学技術立国の一端を担う気概を持って、大学等への進学を目指す人材の育成を目指す
- (2) 工業技術のスペシャリストの育成
工業技術者としての自覚と誇りを持った、ものづくりのスペシャリストを育てる
- (3) 部活動等を通じた人間力の育成
自律心と社会性を育み、豊かな心・強い心を育てるとともに、健全な身体の育成を図る
- (4) 地域や産業界との連携による人材の育成
グローバルな視点と科学的な思考を備えた人材の育成を目指す

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 自校の課題を理解し、解決に向け意欲的に取り組む教師
- 学校経営に積極的に参画し、協調性を持つ教師
- 授業改善に努め、学力向上のため学習指導に熱心に取り組む教師
- 高い専門性と広い視野を持ち、指導力向上のための常に研鑽に励む教師
- 大学等への進学指導に熱意を持ち、具体的方策に取り組む教師
- 運動部、文化部とも、部活動指導に意欲的に取り組む教師
- 資格取得の指導に熱心に取り組む、成果を出すことのできる教師
- 生徒の希望、将来に進路実現に向け、キャリア教育のできる教師
- カウンセリングマインドを持って生徒と接することのできる教師
- 業務を効率よく的確に遂行し、ワーク・ライフ・バランスのとれる教師

III オンリーワンスクールの取り組み

平成27年度から「地域に根ざし、新潟の未来を支えるグローバル人材の育成」をコンセプトに『新工未来プロジェクト』に取り組み、成果を上げてきました。文部科学省の『スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）』事業の成果を内外に発信し、今後も「工業技術の向上に資する専門的職業人材育成プログラムの開発」に取り組んでいきます。

IV 新潟工業高校の未来

本校は昭和14年の創立以来、80年にわたり県内外に優れた人材を輩出してきました。新潟県の中心的役割を担う工業高校です。
進学にも就職にも強い学校です。進学では地元新潟大学、長岡技術科学大学をはじめ、国公立大学への進学者が増加し、ここ数年は13名以上の進学実績を残しています。就職では1次内定率が複数年連続90%を超え、地域企業の厚い信頼の元に毎年就職内定率100%を実現しています。また、部活動が盛んであり運動部、文化部ともに多くの生徒が全国大会出場を目標に熱心に活動し、めざましい実績をあげています。
伝統を継承しつつも、新たな良き伝統を創造し、さらに実績を積み重ねながら、未来を切り拓く工業高校としての魅力を発信していきます。今後も産業界と地域社会の期待に応えていきます。